

あべともこニュース

平和的生存権を守り、道義ある政治を！

◆信頼に足る政治、政策の実現を

新年あけましておめでとうございませす。昨年来、旧統一教会問題もいまだに政治との関わりは明らかにされず、年の瀬には自民党派閥の「政治とカネ」問題が露見し、逮捕者が出るなど、政治への不信が高まった1年でした。

昨年12月22日に閣議決定された2024年度予算案。一般会計総額は1兆12兆717億円と23年度から2兆3100億円ほど減ったものの、過去2番目の規模になる一方、歳入の約3分の1を借金に頼り、1千兆円を超える国債残高が増え続ける状況に…。未来世代への負担はますます増えます。諸々の名目で積まれる予備費が大幅削減されたものの、防衛費は過去最大。教育費の充実や子ども・子育て支援こそ最優先すべきです。

イスラエル・ガザ地区での無差別殺戮も続いています。唯一の戦争被爆国であり、「武力によらない紛争解決」を憲法に謳う日本は国連総会の停戦決議の実現の為にあらゆる努力をすべきです。

◆「処理水」海洋放出の福島原発視察へ

12月20日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、例年の東電福島第一原発視察の他、双葉町と大熊町に跨る中間貯蔵施設（環境省）の視察へ。1Fでは最長40年の廃炉計画も燃料デブリの取り出しは見通せず、1号機を支える土台の損傷、2号機配管内には溶け落ちたデブリによる堆積物が確認等、前途は多難。また8月からは発生し続ける汚染水を「ALPS処理」後海洋放出を開始しましたが、海洋汚染の懸念が指摘されます。更に構内で増え続ける放射性廃棄物の処理が深刻な課題に。

中間貯蔵施設では汚染土壌処理が進んでいますが、最終処分場の目処は立たず…。原発事故の影響は今も大きな影を落とされています。風化させてはならず原発回帰は到底許されません。

原発事故の影響は今も大きな影を落とされています。風化させてはならず原発回帰は到底許されません。



廃炉作業中の1Fを望む

◆PFAS汚染を追う@岡山吉備中央

26日、岡山県内陸の吉備中央町へ。11月に町内浄水場でのPFAS（有機フッ素化合物）汚染の発表、その後既に2020年から高濃度であったことも発覚。1400ナノという国の目標値の28倍という数値はダムや近隣河川へも影響を及ぼし、約1000人の方水道水の飲用制限を受けました。汚染原因は、PFAS除去に使用される使用済活性炭フィルター置き場のフレコンバックからしみ出たのではな

いかと推定されます。現在、フレコンバックは撤去されていますが、450万ナノが検出されたバッグもあり、その近隣の沢では、6万2千ナノという高濃度汚染…。自主検査で血中から高濃度PFASが検出された方々からは、欧米での発ガン性基準値を超え、水質だけでなく、国による血液検査や健康診断が強く求められました。また土壌や大気も含めた明確な基準値がないことも問題です。

た明確な基準値がないことも問題です。



約580のフレコンバックが置かれていたPFASの土壌に係る基準値はまだない



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集